

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2011年度 Vol.4

しながわ環境大賞・緑化大賞決定

平成24年2月18日(土) きゅりあん小ホール

しながわ環境大賞と緑化大賞の授賞式が、2月18日(土) きゅりあん小ホールで行われました。

しながわ環境大賞は、環境保全に関する活動をしている団体や個人を顕彰し、区民の環境保全に関する自主的

な取り組みを促進することを目的としています。

緑化大賞は、地域の環境や景観の向上に資するような優れた緑化を行なった方々を顕彰し、区民の皆様の緑化に対する意識の向上を図ることを目的としています。



しながわ環境大賞



緑化大賞

しながわ環境大賞受賞者の活動をご紹介します

●株式会社 日立ソリューションズ 「ジュネーヴ平和通り歩道清掃活動」



2003年10月に路上歩行喫煙禁止条例が適用され、「捨てる人ではなく、捨てる人へ」ということで参加者を募って清掃活動を開始しました。

ごみは街路樹の植え込み付近に多く、GWや年末年始などの休みの後に量が多くなります。従業員はもとより、近隣や自治会の方々にも参加を呼びかけて活動を行っていますが、今後は参加者を増やし、継続して地域の皆さんと連携していくことが重要であると考えています。

●山中こどもエコクラブ 「親子エコ活動」



「楽しく、美味しく、自然に親しみ、環境にやさしい活動を」の呼びかけのもと、第二校庭、屋上菜園、学校周辺を中心に、毎月1回土曜日の午前中、四季折々の活動を通して身近な自然を味わいながら、環境学習に取り組んでいます。低学年を中心に、毎回70～80名の参加者で盛り上がっています。子どもはもちろん、保護者にとっても自然や環境について学ぶだけでなく、学校を知る良い機会になっています。

●西中延三丁目町会 「地域の資源回収活動」



活動は町会会館を建てたいという夢を持って、20年ほど前にスタートしました。毎月3回、朝7時から9時まで3台のリヤカーが各家庭を訪問する、あるいは回収場所に持ってきていただくなどして集めています。この活動を通じて、ごみを出さないという意識が高まり、町会の団結や町会行事の活性化につながり、住みやすい町会になってきています。また、去年は収益金の一部を東日本大震災の義援金にしました。

環境賞

株式会社 ニコン 大井製作所「省エネルギー活動、地域活動」、平塚二丁目町会「花いっぱい運動」、ハツ山パークフラワーグループ「みどりと花のボランティア ハツ山パークフラワーグループ」、品川区立浜川中学校「地域環境整備活動」、品川区立清水台保育園「エコチェック」、三谷千枝子「地域清掃活動」

緑化大賞受賞者の活動をご紹介します

●積水ハウス株式会社（事業者） 「御殿山プロジェクト」



御殿山の原風景の再生、広域な緑軸の形成、「3本は鳥の為に、2本は蝶の為に」という当社の街づくりの理念である「5本の樹」計画を基にプロジェクトを進めてきました。地域の生態系に組み込まれるように在来種を中心とした植栽を行い、実際に多くの蝶や鳥の飛来につながっています。地域の皆さんに散策していただけるスペースを設け、都会の中ではなかなか見ることが出来ない風景をご覧いただける事と思います。

●ソニー株式会社（事業者） 株式会社 日建設計（設計者） 「ソニー株式会社ソニーシティ大崎」



都市の平均気温の上昇は大きく、建物や道路

などが熱を溜めることが大きな原因といわれています。当プロジェクトは、ビルを冷やす新技術の導入などで歩行域を涼しくし、周辺の緑地がクールスポットになり、建築計画全体が大きな樹木のようにするという夢をもったものです。

当ビルは森をイメージした植栽、ビル入口の大型エントランスで季節の樹木の紹介、屋上緑化に野草マットの使用による生物多様性への配慮などを行っています。

緑化賞

パークハウス品川中延管理組合「パークハウス品川中延」
東五反田二丁目第2地区市街地再開発組合「東京サザンガーデン」

スズメとカラス

スズメとカラスは昔話や童謡に登場する、人にはなじみが深い鳥です。近頃スズメは生息数を減らし、カラスはごみをあさる迷惑鳥となりました。その原因はどちらも都市化にあるようです。

さて植物では、スズメとカラスの名のものを何種類か見ることができます。その一番はカラスノエンドウ！マメ科で、春先に濃いピンク色の花を咲かせます。そしてスズメノエンドウもあります。こちらは小さな、小さな薄紫の花です。カラスは大きい、スズメは小さいという形容が名前の由来のようです。

カラスノエンドウはとてもボリュームがあります。巻きひげを伸ばして、たがいに絡みつき、上へ上へと延びていきます。この群落は、たくさんの株がひしめき合っているのではなく、たった一株です。支える根は、地上の部分の繁り具合に比べると、それほど長くはありません。芽生えの季節「春」は生きものを育むのに十分な雨を降らせるようです。



(左)カラスノエンドウ：別名ヤハズエンドウ 花盛り
(右)植え込みにみつけ「まっくろ黒の実」

スズメノエンドウを近所で初めて見つけた時、うれしくて小躍りしました。しかし芝生の中だったため

草刈りされてしまい、次の年はなくなりました。しかし庭にはたくさんの芽生えがありました。鳥たちが種まきをしていたのです。

花や姿の大小の違いだけではなく、実った時もそれぞれ特徴があり、楽しめます。カラスノエンドウのさやが真っ黒！羽の色と同じです。それでカラスなのでしょう。スズメノエンドウは、まるでアルファベットの「B」のようで、さやのママは2個、実った時の色は茶色です。



(左)スズメノエンドウの花

(右)同 熟した実

「カスマグサ」というカラスノエンドウとスズメノエンドウの中間形があります。

花色はカラスノエンドウと同じですが、草丈は相当小さく、花もかわいい大きさです。名前はカラスの「カ」スズメの「ス」、間の「マ」に「クサ」ですから、野外でカラスノエンドウとスズメノエンドウの両方を見つければ、カスマグサもあるに違いないと、きよろきよろ探しまわる人を見かけます。これは大変な思い違いで、交配種ではありません。

カラスノエンドウは植え込みや街路樹の周囲でみかけます。この場所には、ほかにもいろいろな草の芽生えがあります。雑草、迷惑な草と退けないで、観察してみましょう。

(環境カウンセラー 倉田智子氏提供)

品川区の桜



大井水神公園



かむろ坂



東品川海上公園

品川区には季節の変化を感じられるところや自然を楽しめる場所がたくさんあり、これからの季節にはいろいろな花々が‘私たち’を見てくださいと言わんばかりに咲き誇ります。ご家族で各地にお出かけになってはいかがでしょうか。

今回は最も親しみのある花、桜をご覧ください。また皆さまがお撮りになった今年の区内の桜の写真がございましたら、当センターまでお送りください。ホームページに掲載させていただきたいと思っております。写真は昨年撮影したものです。



しながわ区民公園



目黒川



しながわ中央公園



立会道路

私たちの活動紹介 古布の七変化～洋服から小物まで～

私たちのグループ「リメイク‘絆’」は、‘箆笥の肥やし’になっている洋服、着物等を利用してコートやバッグなどを作っています。



‘箆笥の肥やし’は思いのほか多くあり、いづれも父母や祖父母の思い出が

いっぱい詰まった品物です。皆様方のお家にもあると思いますが、いかがでしょう？

そのまましておくのはもったいない、そんな気持ちが私たちをこの活動に駆り立てました。「捨てないで、生れ変って、また役に立つ」を活動テーマとして、12人の仲間が月2回集まって制作を楽しんでいます。



作品の一例をご紹介します。

- ・羽織からコートなどの衣類（私たちが着ているものはいずれもリメイクしたものです）
 - ・着物や洋服、帯からバッグや帽子など
- 活動を始めて6年になりますが、これまでに作った品数は数百点にも及んでいます。これらの作品をバザー等で販売し、収益金から制作にかかった最低限の材料費を引いた金額を東日本大震災の被災地などに寄付することにしています。



「もったいない・・・」の気持ちを大切に

リサイクルショップ

「リボン」をご存知ですか？

「リボン」はNPO法人「エコタウンしながわ」が品川区の協力を得て運営しているリサイクルショップで、旗の台店と大井町店があります。



旗の台店



大井町店

「ものを大切に使う」をテーマに

洋服、バッグ、雑貨や家具など、ご家庭にある品物の買い取りや委託販売をしています。

「捨てるのはもったいない」、「ご縁があれば他の方に使っていただきたい」、そんな品物がありましたら「リボン」をご利用ください。

お買い得品や掘り出し物をいろいろと揃えています。

「リボン」では、みなさまのご来店をお待ちしています。

詳細はそれぞれのお店にお問い合わせください。

旗の台店 03-5498-7803

大井町店 03-5742-6933

環境学習講座のご案内 皆さまのご応募をお待ちしています

●さき布から「ぞうり」を作ろう (中学生以上)

家庭にある古布を使って「オリジナルぞうり」を作ります。

(2日間で完成します)

日時/4月29日(日)、30日(休)

13時30分~16時

●林試の森公園で自然のふしぎ発見! (小学生と保護者)

この木はどこから来たの? 水はいろいろな形に変わるなど、公園内で自然のふしぎを学びます。

日時/5月13日(日)14時~16時

●カナダ極北の大自然の動物とイヌイットの人たち (一般)

地球温暖化の影響で野生動物の生態が変化しています。極北に住む人々と動物の話です。

日時/5月20日(日)14時~16時

●緑のカーテン作りを学ぼう (一般)

ゴーヤとフウセンカズラを使って緑のカーテン作りを教わります。配布された種を持ち帰り、自宅で緑のカーテンを作ります。

日時/6月3日(日)14時~16時

●エコロジー社会だった「江戸」の市民生活の実情を探る (一般)

江戸のエネルギー使用、衣食住、ごみ処理など、江戸時代の生活はこのようでした。

ご好評につき、昨年に続き開催

日時/6月9日(土)14時~16時

●地球温暖化とエネルギー問題 (一般)

世界的に大きな問題となっているテーマについて、分かり易く解説します。

日時/7月13日(金)14時~16時

夏休み前 小学生向け環境講座

●身近なもので作ろう「世界でひとつの立方体万華鏡」(小学生)

あまり目にすることのない箱型・立方体の万華鏡です。オリジナルデザインを楽しまししょう。



日時/6月17日(日)

14時~16時

●牛乳パックで立体メガネを作ろう (小学生)

牛乳パックを切り抜いてレンズをはめ込み、2枚の写真を見ると3D画像が見られます。

日時/6月24日(日)14時~16時



●風力発電機を作ろう (小学生)

ペットボトルで作った羽根車に風を吹きつけて発電機を動かし接続したモーターを回します。再生可能エネルギーの風力発電の工作と実験をします。

日時/7月8日(日)14時~16時



本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

講座の開催日、名称等はいずれも予定です。内容、応募方法等については「広報しながわ」、「品川区環境情報活動センター」のホームページにて後日掲載します。

しながわECOだより2011年度Vol. 4

発行：品川区都市環境事業部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：平成24年3月14日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/